

令和4年度事業計画

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

【1】はじめに

- ・ 総本部は、「人生100年時代」を見据えて、10年後を視野に入れた諸施策の立案実行に力を入れてきましたが、長引くコロナ禍が逆風となり各地区、各会それぞれの活動に大きく影響し残念な結果となりました。特に基盤である「会員総数の大幅減少」は財政面でも深刻な状況をもたらしました。
- ・ 令和4年度も楽観出来ません。はっきりしてきたことは「現在の局面は一過性のものではない」ことです。現実を否定しても是認しても現実は変わりません。現状を良く見つめて、認識することで、勇気をもって必要な施策を、打ち立て共に行動することです。
- ・ 今のこの時代を生き抜くためには、コロナとの共生を図り、これが新しい生活様式であるとの認識のもと、個人としては「三密対策」など抵抗なく継続実施し、組織としては『新しい日常の枠組み』の中で、工夫をして吟詠活動を組み立てていくことです。
- ・ 特に昨年10月に発表した「会員1万人復活活動の集中実施」に加えて「財政基盤の健全化」を緊急最重点課題とし、令和5年に迎える90周年に向けて、総力を挙げて取り組みますので、各地区・各会の諸先生の一層のご理解、ご協力をお願い致します。
- ・ これからも関西吟詩の長い歴史と伝統を継承するとともに新たな歴史をつくるため、執行部は一体となって、会員各位が楽しみ、安心して吟詠活動が出来るようあらゆる施策を実行し、各教場・支部・会の活性化につながるよう「自律自助」の実践に励みます。

【2】令和4年度基本方針

会 訓 「一生初心」
スローガン 「自律自助」 (活力ある毎日を目指して)

【3】重点施策

1. 会員1万人復活へ向けての具体的な方策
 - ① 地区連合会と協力して組織点検と会・支部への支援策を協議実行する。
会員の継続と退会防止等、新たな対応策を検討する。
 - ② 新入会・再入会促進運動（キャンペーンの実施）
 - ・ 退会者への再入会の呼びかけの継続実施。
 - ・ 新規会員獲得に向け「ひとり一声運動」等、更なる展開を図る。

- ③ 各地区で開催する吟詠普及推進事業・研修会等の継続と不特定多数の人に対し、一層の推進を図る。
遠方等多くの人に参加頂けるリモート方式を取り入れる。

2. 財政基盤健全化政策の実施

- ① 固定費圧縮を含めた経費計画の見直し（事務量削減策の実施）
 - ・ 基幹収入（会費・昇段昇格免許・教本販売）に見合う本部規模にするため、具体的な削減策を策定。
- ② 緊急3ヵ年計画の策定。（R4年～6年）
 - ・ 会員数等の中期予測と事業量のバランス改善を検討。
 - ・ 体質の転換を図るとともに、収支マイナスを無くする。
 - ・ 人件費の削減、出務費用・出張旅費等の削減を図る。
 - ・ 新しい財源獲得手段、収益向上策の検討。
- ③ 令和4年度、「全部門支出10%削減」を目標に予算書作成。（財務部）
- ④ 吟詠普及推進事業、東明未来塾、研修会等、リモート研修の充実及び広範囲な受講者参加を図る。
- ⑤ 90周年記念大会の規模見直し。

3. 指導者養成講座「東明未来塾」（本部及び地方）の継続実施 リモート方式も取り入れて受講生の利便性を向上する。

4. 吟道大学講座の継続実施 指導者等の技術・知識の高位標準化を図る。

5. 高齢者・幼少年の活動支援の実施 全国競吟大会に「シニアの部」を追加する。

6. 青年・壮年層（活動の中心となる層）の吟詠普及活動対策

7. 局部制の更なる推進 局部会の内容の充実と迅速化・効率化を推進。

8. 定款施行細則・規程・内規等の見直しと整理の実施

9. 公益事業の更なる推進

- ① 承認会事業及び地区連合会との更なる連携。
- ② 特別寄付金制度の検討。

10. 90周年記念大会に向けて、記念誌作成委員会及び大会実行委員会の活動推進

令和4年度事業計画

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行う。

公益目的1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進吟詠大会（一般来聴公募）

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠の素晴らしさを、広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図る。又、地区事情に合わせて、新指導者の研修を取組。

① 全国吟詠大会 in 大阪

出演者は全国より推薦された師範代以上の指導者で、広く一般の方々に古典芸能としての吟詠を、さまざまな形でお聞きいただき、吟詠普及に努める。又、幼少年・青年層の育成の為発表の場を作り、吟詠の普及継承を図る。事業開催頻度の見直しを行い、毎年から隔年開催に変更した。従って今年度は開催しない。

② 新春吟詠大会

新年を寿ぎ全国より会員及び不特定多数の者が集い、関西吟詩の優秀吟者の吟詠鑑賞および参加者全員参加の吟詠を行うと共に、懇親を深める。

・令和5年1月9日（祝） 都ホテル尼崎
約250人参加予定(内一般会員他30人)

③ 吟詠普及推進研修会兼吟詠大会（一般来聴公募）

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、不特定多数の方々に吟詠を鑑賞頂く。

吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会

	令和4年6月12日（日）	約200人参加予定(内一般会員他80人)
九州大会	令和4年6月19日（日）	約150人参加予定(内一般会員他60人)
岡山大会	令和4年8月7日（日）	約100人参加予定(内一般会員他30人)
京滋福井大会	令和5年2月12日（日）	約120人参加予定(内一般会員他20人)
四国大会	令和5年2月26日（日）	約100人参加予定(内一般会員他30人)
西中国大会	令和5年3月19日（日）	約300人参加予定(内一般会員他80人)

(2) 周年記念大会

- ① 総本部：創立90周年を令和5年に控え、記念誌作成委員会及び記念実行委員会の事業推進。
- ② 承認会の周年記念大会開催。
 - ・令和4年10月30日（日） 白鷺連合会 会場：宝塚ホテル
 - ・令和4年11月23日（祝） 哲友会 会場：アルカイクホール
- ③ 各公認団体等の記念大会等への後援

(3) 吟詠普及啓発活動の実施

- ① 青少年及び教育関係等に対する活動推進。
 - ・ 小中学での課外授業への積極的参加
 - ・ 公認会などでの青少年詩吟教室開催
 - ・ 幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
- ② 福祉施設、地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進。
- ③ 学校、図書館などへの吟詠資料提供。
 - ・ 公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞の DVD」の提供
- ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的参加。
- ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加。

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

規約に則り助成を行う。

(5) 全国青年部錬成会を行う。

青年部主導で青年部員吟詠、幼少年吟詠、役員吟詠、他流優秀吟者吟詠、関西吟詩優秀吟者吟詠、青年部による構成吟の発表で詩歌吟詠の普及と伝承を図る。事業開催頻度の見直しを行い、今年度は錬成会を開催する。

令和4年9月4日（日） 総本部会館

(6) 電磁的公報、機関誌発行

- ① 吟詠普及の為にユーチューブに於いて動画配信を推進。
ユーチューブを通じて吟詠推進活動の実施計画をたて、継続して不特定多数の人に詩吟をアピールする取組みを行う。
- ② ホームページでの吟詠普及を図る。
 - ・ 教場紹介検索コーナーの画面設定に取り組む
 - ・ 漢詩紹介の拡充のために「悠久の名詩選Ⅱ」の掲載
 - ・ 特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介
- ③ 機関誌「吟詩日本」を発行。（一般販売）
 - ・ 時代に即応できるよう改善実施する
 - ・ 漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
 - ・ 「吟詩日本」発行。（197号、198号、199号、200号）

(7) 教本発行（一般販売）

- ① 教本冊子頒布。
 - ・ 新教本初級編他（既刊教本）の頒布
 - ・ 新教本 B 縮刷本（新刊教本）の頒布
- ② 「和歌・俳句・新体詩(近代詩)」縮刷本の検討。

(8) 海外移動教室の開講

新型コロナウイルス感染症蔓延のため「中国漢詩紀行」の計画を見送る。

(9) 国内移動教室の開講

国内の史跡、詩歌ゆかりの地を巡り、歴史、文化の理解を深め詩吟の普及向上を図る。

- ・ 大阪実業団詩吟連盟と共同企画で進める

(10) 災害復興支援活動の実施

- ・災害復興義援金の募集活動継続実施（イベント毎に呼掛け）

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催（一般来聴歓迎）

- ① 全国新人中間層競吟大会 エーリック（尼崎）
令和4年11月13日(日) 予定参加者約600人 出吟者約320人
- ② 全国準師範師範代・指導者級吟士権者決定吟詩大会 現代劇場(高槻)
令和4年12月11日(日) 予定参加者約600人 出吟者約370人
- ③ 全国競吟大会予選大会
 - ・大阪地区大会・九州地区大会・西中国地区大会・岡山地区大会
 - ・四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会・和歌山地区大会
 - ・京都地区大会・滋賀地区大会・東海地区大会・東京地区大会

(2) 昇段審査、昇格試験および研修会の実施

- ・内部規程に基づき昇段審査を行い合格者に段位を授与する
 - ・内部規程に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し合格者に指導者としての資格を授与し、吟詠の普及活動に従事する
- ① 昇段審査は内部規程に基づき、一次審査は公認団体毎に実施。二次審査は総本部において実施し会長が認定する。
令和4年7月1日付及び令和5年1月1日付で昇段免許を授与する。
 - ② 地方昇格試験を実施する。(師範・準師範・師範代)

福岡試験場	令和4年6月19日(日)
広島試験場	令和4年6月19日(日)
名古屋試験場	令和4年6月19日(日)
 - ③ 総本部試験場で昇格試験を実施する。
師範・準師範・師範代 令和4年7月17日(日)
(昇格試験に合格したものには、9月1日付で東明祭(9月11日)において免許状を授与する)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行う。

① 吟詠普及推進研修会

【公益目的1の詩歌吟詠の普及推進事業】に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行う。

- ・吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会(総本部)
令和4年6月12日(日)
約200人参加予定(内一般会員他80人)
- ・吟詠普及推進研修会九州地区大会
令和4年6月19日(日) 約150人参加予定(内一般会員他60人)
- ・吟詠普及推進研修会岡山地区大会
令和4年8月7日(日) 約100人参加予定(内一般会員他30人)
- ・吟詠普及推進研修会京滋福井地区大会
令和5年2月12日(日) 約120人参加予定(内一般会員他20人)

- ・ 吟詠普及推進研修会四国地区大会
令和5年2月26日(日) 約100人参加予定(内一般会員他30人)
 - ・ 吟詠普及推進研修会西中国地区大会
令和5年3月19日(日) 約200人参加予定(内一般会員他80人)
- ② 指導者研修会
- 1) 推薦師範講習会 令和4年6月12日(日) 総本部
約200人参加予定(内一般会員他80人)
 - 2) 吟詠研修会 令和4年9月11日(日) 大東市市民会館
約200人参加予定(内一般会員他80人)
 - 3) 昇格課題詩研修会(令和5年度 師範・準師範・師範代昇格課題詩)
令和4年11月20日(日) 総本部
(長詩4題・和歌3題・律詩6題・絶句8題)
約200人参加予定(内一般会員他80人)
- ③ 吟道大学講座の開講
- ・ 令和5年2月4日(土)～5日(日) パナソニックリゾート大阪
 - ・ 漢詩、和歌、俳句、新体詩の吟詠技能・発声技能研修、中国・日本の歴史講座 約150人参加予定
- ④ 新指導者養成講座「東明未来塾」の開設
漢詩鑑賞、作詩法、発声の理論、指導者の心構え、組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修、中国・日本の歴史講座
- 総本部コース
 - ・ 開催回数 4回/年
令和4年9月24日(土) 令和4年11月26日(土)
令和5年1月28日(土) 令和5年3月25日(土)
 - ・ 受講者数 50名
 - 地方コース (本部コースにリモート参加)
 - ・ 九州地区 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
 - ・ 四国地区 (高知・徳島)
 - ・ 西中国地区 (広島・山口・島根)
 - 地方コース
 - ・ 東海地区 (静岡・愛知・三重) 3回/年
令和4年10月15日(土) 令和4年11月5日(土)
令和4年12月3日(土)
- ⑤ 作詩講座 (一般公募) 総本部 会議室
作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図る。
- ・ 毎月第2金曜日 午後2時～4時00分迄
 - 年12回(前期、後期に分けて) 予定参加者数 延約180人
- ⑥ 作詩添削
一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかる。
- ・ 4回/年 予定応募作品数 約160作品
- ⑦ 漢詩鑑賞講座 (一般公募) 総本部 会議室
漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも

漢詩を広めるものとする。

・2カ月1回（年6回）

午後2時～4時30分迄

予定参加者数 延 約400人

(4) 研究会

- ・指導局指導部会 ・指導局教養部会 ・指導局教本作成部会
- ・秀詠グループ吟詠研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術探求などの研究を行う。

(5) 部会・委員会

- ・広報局広報部・広報局ホームページ委員会
不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための広報活動を行う。
- ・広報局企画部
吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案を提言する。
- ・青年部
不特定多数の人及び青年層に対して広く吟詠普及活動を行う。
- ・作詩添削委員会
会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置する。

2. 収益事業

収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD等を頒布する。

(1) 参考図書販売

- ① 誰にでもできる漢詩の作り方（太刀掛呂山著）
- ② 作詩便覧 宮崎東明編
- ③ 作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行

(2) CDの頒布

- ・和漢名詩選(一～七)他（既存） 既存CDの頒布
- ・和漢名詩選(八)（新作） 新作CDの頒布
- ・本部指導者研修会収録編（新作） 新作CDの頒布

DVDの頒布

- ・「昔ばなし 一寸法師」他 既存DVDの頒布

収益2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を

交付する事業

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

- ① 昇段免状授与

所定の昇段審査に合格した者に対し免状を授与する。

令和4年7月1日付及び令和5年1月1日付

② 昇格資格者への免状の授与（師範代・準師範・師範）

・所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与する。

令和4年9月1日付

・推薦による昇格申請に基づき審査し、昇格免状を授与する。

令和4年9月2日付

③ 特別昇格（上師範・高師範・総師範）

推薦による昇格申請に従って審査し、特別昇格の称号を授与する。

令和4年9月2日付

(2) 記章の販売

「師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売。

3. 相互扶助事業

その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

(1) 東明祭の開催と功労者顕彰 令和4年9月11日(日)

① 会員増員表彰（個人、支部、会） 令和4年9月1日付

② 敬老祝、成人祝 令和4年7月1日付

③ 功労者等顕彰の実施 令和4年9月1日付

細則第1号22条の顕彰基準に定める称号を授与。

吟功章 (上師範、高師範、総師範)

特別吟功章 (宗 範)

4. その他の事業（法人会計事業）

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

(1) 定時総会の開催 令和4年6月4日(土) エーリック（尼崎市）

(2) 各種会議

① 総会

② 役員会(正副会長会・理事会)

③ 元老・相談役・参与・代議員会議

④ 局部会（管理局総務部・管理局財務部・管理局組織部）

⑤ 懇談会等

・青年部員懇談会

・都府県連合会代表者会議

⑥ 東明未来塾運営委員会

⑦ 特別審議委員会

⑧ 創立90周年記念大会実行委員会・記念誌作成委員会

⑨ その他特別検討委員会